

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第82回本部会議 記録

日 時／令和3年10月19日(火)

15:00～15:23

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第82回本部会議を開催いたします。

まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

### 【原田新型コロナウイルス感染症対策監】

資料1をご覧くださいと思います。道の警戒ステージの指標についてでございます。すべての指標でステージ3の目安を下回っておりますけれども、昨日時点で、先週と比べますと重症者の病床を除くすべての指標で増加が見られるという状況でございます。

また、地域における状況でございますけれども、感染者が少ないために一部指標で変動が大きいものもございますけれども、各圏域において、多くの指標でステージ3を下回っているという状況です。振興局別の新規感染者数ですけれども、一部の振興局において、感染が増加しているという状況でございます。

総評です。まず感染状況ですけれども、全道の新規感染者数は下げ止まりが見られ、10月14日から5日連続で先週比が増加している。集団感染も継続して確認されている。札幌市内の主要な地点の人流は、増加が続いているという状況です。

医療提供体制です。療養者数、入院患者数も減少から横ばいに転じているという状況です。

ワクチンですけれども、道民の7割超の方が1回目の接種、6割超の方が2回目の接種を終えているという状況になっています。

今後の対策です。人流の増加が続き、新規感染者数も先週比で増加していることから、急激な増加につながらないよう、あらためて対策の徹底を図ってまいります。飲食店の第三者認証制度についてですけれども、22日から全道での申請受付を開始いたします。また、同日から開始される国の技術実証について、道としても、連携して取り組んでまいります。先般、国は、次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像の骨格を示したところでございますけれども、今後の国の検討状況を注視しながら、医療提供体制の強化に向けて、万全を期してまいります。ワクチン接種に関する広報を積極的に行いながら、希望する方が1日も早くワクチンを接種できるよう、引き続き、市町村の支援等に取り組んでまいります。追加接種につきましては、来年1月までに使用するワクチンの配分について国から示されたこと等を踏まえ、12月から接種を開始できるよう、市町村等との調整や国からの情報収集に努めてまいります。

以降のスライドに関しまして、ワクチン接種に関しての状況を補足してご説明いたします。一般接種の進捗の状況でございます。先ほどもちょっと触れましたけれども、一番下の○でございますけれども、追加接種については、接種対象者等の詳細はまだ示されてはおりませんけれども、先週10月15日に国から来年1月までに使用するファイザー社製ワクチン、3回目第1クールという扱いになりますけれども、その配分スケジュールや道内への配分量、これは合計で114箱ということでございますけれども、示されてございます。こうした状況を踏まえて、12月からの追加接種が可能となるよう、市町村等との調整を進

めるほか、引き続き国からの情報収集にも努めてまいります。

その他のスライドにつきましては、本日の説明に関するデータでありますので、のちほどご覧いただければというふうに思います。

続いて、お手元の資料2をご覧ください。資料1の道内の感染状況等について、専門家及び有識者のご意見を伺うとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。

有識者、専門家の方々からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますけれども、その主なものについてご紹介いたしますと、(1-①)感染対策の徹底を呼びかけるとともに、医療施設や保健所において、迅速な検査、入院ができるよう、今一度、感染拡大期に備えた体制整備を検討していただきたいといったご意見。(1-②)徐々に感染者が増加傾向を示しているが、第6波に向けて体制を整える重要な時期。インフルエンザワクチンやブースター接種が円滑に進むよう調整をお願いしたいといったご意見が寄せられております。

また、市町村、関係団体からは、(2-①)新しい旅のスタイルも再開となりましたが、人流の増加に伴う感染状況に留意すべきといったご意見が寄せられております。こうしたご意見につきましては、今後の取組の参考としてまいります。

私からの説明は以上です。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております山口感染症担当部長からご説明をお願いします。

#### 【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市内の感染状況について、資料3に基づきましてご説明をいたします。

それでは最初のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計につきましては、昨日10月18日時点で95人でございます。そのうち、リンクなしの人数は38人であり、その割合は40.0%となっております。1日平均の新規感染者数は13.6人であり、15人を下回る水準で推移をしております、人口10万人当たりの新規感染者数は4.8人となっております。

それでは、次のスライドをご覧ください。札幌市内の入院患者の状況でございます。昨日時点の入院患者数は、黄色い棒グラフでございますけれども、27人となっております。重症患者数であります赤い折れ線グラフでございますけれども、昨日時点で1人でありまして、医療の負担は抑えられている状況でございます。

それでは、最後のスライドをご覧ください。検査数についてでございますが、直近の1週間の検査件数は6,750件でございます。また、陽性率は昨日時点で1.4%でありまして、5%未満での推移でございます。

札幌市内の感染状況、落ち着いてございますけれども、制限の緩和によりまして、人と人との接触の機会が増え、市内では酒類の提供を行う飲食店での集団感染事例も発生してございますことから、感染リスクの高い飲食の際の感染防止対策の徹底が重要と考えてございます。

以上でございます。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部・振興局から、順次、発言をお願いします。

まず、経済部長からお願いします。

### 【山岡経済部長】

はじめに国のワクチン接種歴の確認検査などを行います技術実証につきまして、報告いたします。資料4-1をご覧ください。昨日18日に国は技術実証の案件の公表を行い、道内からは資料の3案件の中に記載しておりますとおり、札幌市内の飲食店を2店舗、ライブハウスなど2施設が選定されたところです。これらの施設の提案・国の選定に関しまして、飲食店については札幌市と、ライブハウスなどにつきましては一般社団法人北海道ライブエンタテインメント連絡協議会と協議をし、実証に必要な入店制限や場所の提供にご協力いただけることとなった施設が選定されたところです。実施期間は、飲食店は10月22日(金)から30日(土)まで、毎日17時から23時までとなっております。ライブハウスなどでは11月26日から12月12日にかけて順次行われる予定です。5にあります緩和の内容ですが、実証期間中は、特例的な取扱いとして、飲食店では人数制限を緩和することとし、ライブハウスなどでは業種別ガイドラインを緩和して、会員の定員を増やす予定です。日常の生活の回復に寄与するという技術実証の趣旨を踏まえて、国の取組に道といたしましても積極的に協力していきたいと考えております。

次に、資料はございませんが、飲食店の第三者認証の全道展開について、先週15日からは石狩管内と小樽市、旭川市、函館市に拡大して申請受付を開始し、既に申請も相当数いただいているところでありますが、さらに今週22日からは対象を全道域に拡大し、申請を受け付けることとしております。認証につきましては、お店の感染防止対策の実践をPRできる機会であることに加えまして、今後の感染状況あるいは国の基本的対処方針の見直しにより、営業時間短縮や酒類提供時間短縮などの制限緩和の要件となる可能性があり、道内に広く展開していることが重要です。振興局の皆様には、これまでも様々な形で周知にご協力をいただいていることに感謝を申し上げますとともに、引き続き市町村の方々との連携や幅広い周知について、特段のご協力をお願いいたします。

私からは以上です。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、観光局誘客担当局長、お願いします。

### 【清水観光局誘客担当局長】

国が行います観光分野の技術実証について、報告をいたします。資料4-2をご覧ください。観光庁では、感染対策と日常生活の両立に向けまして、宿泊施設や旅行会社が実施するツアーにおいて、ワクチン接種歴の確認や事前のPCR検査のオペレーションなどを検証するため、技術実証を行っております。宿泊施設では、ハマノホテルズなど三つの事業者が合計五つの施設で実施しております。

また、パッケージツアーにおきましては、東武トップツアーズなど四つの旅行会社が、いずれも道外発で北海道を目的地とするツアーで実証をすることとしております。実証の内容といたしまして、ワクチン接種歴の確認などのオペレーションのほか、利用者および事業者へのアンケートを行うこととしておりまして、今後ともこうした観光分野における技術実証につきましても、国と情報交換を進めてまいります。

以上です。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、後志総合振興局長、お願いします。

### 【天沼後志総合振興局長】

後志管内で発生いたしました集団感染事例につきまして、資料5に基づいてご説明をい

たします。10月11日(月)に後志管内の特別養護老人ホームの入所者1名が陽性と判明いたしました。これを受け、同施設の全ての職員および入所者につきまして、PCR検査を実施いたしましたところ、14名の陽性者が確認をされまして、その行動歴などから総合的に判断いたしました。10月14日(木)に集団感染事例として公表し、これまでに29人の陽性者が確認されているところでございます。感染者の内訳といたしましては、職員6名、入所者23名、症状といたしましては、無症状および軽症となっております。

また、これまで感染拡大防止のための再検査を含めると延べ277件のPCR検査を実施しており、今後も健康観察期間において発熱等の症状が出た場合には、随時検査を実施いたしますほか、感染拡大防止のため、入所者等に定期的に検査を実施していく予定としております。

また、ほとんどの職員および入所者へのワクチン接種が行われておりまして、29名の陽性者のうち26名はワクチン接種済となっております。今回の陽性者は無症状または軽症でございます。そういった点ではワクチン効果が表れているとも考えられますが、一方で、職員を含め無症状の方が多かったことが感染の拡大に繋がった可能性もあると考えているところです。

現地における対応といたしましては、陽性者の集団発生を確認後、当保健所から保健師を直ちに派遣し、ゾーニングを指導するとともに、施設の感染防止対策の内容を具体的に助言・指導したところでございます。また、10月12日に施設内に現地対策本部を設置いたしました。当施設にガウン1万枚、グローブ1万枚、フェイスシールド200枚の提供を行うとともに、指揮室から医師・専門職の派遣を受けましたほか、他の保健所からも保健師の派遣を受け、対策を実施したところでございます。このほかにも、当施設に対する介護員及び看護師の派遣を指揮室を通じて要請しているところでございます。

なお、感染者等を隔離しておりますレッドゾーンで勤務する職員の中には、家族への感染を恐れ、帰宅できなくなった方もおりまして、地元自治体の協力によりまして、これらの職員のための宿泊施設を町内に別途確保したところでございます。

今後とも施設等関係機関と協力いたしまして、情報共有に努めながら感染拡大防止に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、上川総合振興局長、お願いします。

#### 【吉田上川総合振興局副局長】

本日、佐藤局長は、ちょうどこの時間、新しく市長となられました旭川市の今津市長と感染防止対策を呼びかける共同メッセージ動画を撮影しておりますことから、代わって私から、資料6に基づき、管内の状況についてご報告いたします。

まず感染状況についてでございます。旭川市におきましては、今月に入り集団感染が相次いで発生している状況でございます。具体的には、10月5日発表の障害者支援施設、8日発表のフィットネスクラブ、それから14日発表のスイミングスクールと連続して確認をされており、昨日18日時点で3施設、計40人となっております。また、同じく昨日時点での旭川市の週10万人当たりの新規感染者数は13人となっておりますが、そのほとんどがリンクを追うことができている状況でございます。

次に対策についてであります。まず、集団感染への対応といたしまして、旭川市保健所に対し、上川保健所としても検査協力を行うとともに、適時職員をリエゾンとして派遣するなど、情報共有を図りながら連携して対応に当たっているところです。また、冒頭にも申し上げましたが、経済活動が再開しつつあるこのタイミングで、旭川市民に対し、あら

ためて感染防止対策を呼びかけようということで、旭川市今津市長と振興局長による共同メッセージ動画を撮影し、SNSやホームページなどを活用して啓発に取り組んでまいりますほか、啓発用チラシについても活用してまいります。

加えまして、現状クラスターは発生しておりませんが、飲食店に対しましては、先ほどもお説明がありましたとおり、道の第三者認証制度を先週15日から旭川市内を対象として先行受付を開始したところでございます。市内飲食店約2,200店舗へは、振興局からもダイレクトメールを送付しており、多くの事業者様から申請をいただいております。引き続き、制度の活用促進に向け、旭川市をはじめ市町村や商工会議所、商工会などの関係団体と連携して取り組んでまいります。

上川総合振興局といたしましては、管内市町村、関係団体との協力のもと、引き続き、感染防止対策の徹底に努めてまいります。

以上でございます。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、渡島総合振興局長、お願いします。

### 【鳴海渡島総合振興局長】

渡島管内の取組について、ご報告をいたします。資料7をご覧ください。

まず最近の感染状況ですが、渡島管内におきましても、全道的な流れと同様に新規感染者は減少が続いておりまして、9月27日に管内の新規感染者数がゼロとなって以来、新規感染者数は1日あたり0～3人以下の状況は継続しています。また、10月11日には道南圏の宿泊療養施設の入所者がゼロになったところであり、当面、今後の感染状況により速やかに稼働できる体制を維持することとしております。

次に感染拡大防止に向けた取組ですが、8月から9月の緊急事態措置期間中、渡島管内では、特に函館市において多くの新規感染者が発生していたことから、函館市や企業、団体など地域の様々な主体と連携をして、1日も早い感染拡大の抑制に向けて取り組んできたところでありまして、秋の感染拡大防止特別対策期間におきましても、引き続き、住民等への働きかけを行ってまいります。

まず、地域住民向けの取組についてですが、地元FM局やケーブルテレビなどを活用した函館市との共同メッセージの発出を継続するとともに、緊急事態措置期間には新たにコープさっぽろの協力をいただきまして、各店舗を訪れる地域住民に対して、感染防止対策の徹底を呼びかけたところです。

次に事業者向けの取組についてですが、緊急事態措置の延長や秋の感染拡大防止特別対策の実施など、新たな対策が決定される都度、各種業界団体に対してその内容の周知とともに、職場内での感染拡大防止対策の徹底等の協力について、依頼をしているところです。また、全道で適用される飲食店における感染防止対策の認証制度、いわゆる第三者認証制度について、市町や関係団体を通じて、事業者への周知を直ちに行ったところでありまして、特に飲食店の多い函館市とは緊密に連携しながら、周知の徹底や認証店のアピールに努めてまいりたいというふうに考えております。

最後に若年層向けの取組についてですが、当振興局では、観光庁のほか企業や民間団体など18団体に賛同いただきまして、若者の感染防止対策に資する啓発動画の作成をいたしました。この動画は、参加いただいた各団体のSNSなどで積極的に発信していただくとともに、新聞やテレビなどでも紹介され、出演者がパーソナリティを務める地元FM局の番組でPRしていただいているほか、地元ケーブルテレビの自社番組のCMにも現在活用いただいているところです。また、若者の積極的なワクチン接種を促すため、ワクチン接種の正しい知識を伝える啓発用のリーフレット、右側に掲載してましても、これを作

成をいたしまして、管内の高等教育機関に対して配布をいたしまして、引き続き、若者の感染拡大防止に努めてまいる考えです。

冒頭申し上げましたとおり、渡島管内では現在、感染は減少しておりますけれども、これもひとえに地域住民の皆様や各市町、関係団体等のご協力の賜物でございまして、この場をお借りして、深く感謝申し上げたいというふうに思います。しかし、昨年は冬場を迎えるこの季節から急激に感染が拡大をいたしましたことから、今後も気を緩めることなく、引き続き、基本的な感染防止対策に取り組んでまいる考えでございまして。

渡島からは以上です。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

この他、各部、振興局からご発言ございませんか。なければ、本部長からお話しをお願いします

#### 【本部長（知事）】

本日の全道の新規感染者数は、12人ということでありまして。人口10万人当たりで3.4人という状況で、6日連続で前週と比べて増加が続いているという状況になっています。集団感染、こちらにも継続して確認をされております。また、人流も増加をしているという状況にあります。

14日をもって、飲食店の時短など札幌市内の対策を終了し、全道域での対策に移行したところでありまして、ここから急激な増加につながらないように、これからは、一人一人の感染防止対策の徹底、感染リスクを回避する行動の実践が一層重要になってまいります。各本部長、そして地方本部長の皆さんにおかれましては、引き続き、10月31日までの間、道民の皆様に対し、基本的な感染防止対策の徹底、特に飲食時には、4人以内、短時間、深酒せず、会話の時はマスクをするといった行動の徹底を呼びかけてください。

また、先週、国から、次の感染拡大に向けて、感染力が2倍となった場合にも対応できるように病床を確保することなど、今後の対策の骨格が示されたところでありまして。道としても、今般、感染拡大時に臨時医療施設に転用可能な宿泊療養施設を整備をしたところでありまして。医療提供のために必要な設備整備も今月中に完了する予定であります。引き続き、国の検討状況を踏まえながら、医療提供体制の強化、ワクチン接種のさらなる促進など、次の感染拡大を想定した取組を進めていただくように指示をいたします。

また、飲食店の認証制度について、22日から全道で申請受付を始めます。そして、札幌市内においては、22日から飲食店での国の技術実証、これが始まります。

今後の感染拡大に備える重要な時期を迎えています。各本部長においては、感染対策の徹底はもとより、ワクチン接種の促進と医療提供体制の強化、日常生活の回復に向けた取組など、先を見据えながら、そして、地域の皆様と引き続き連携を図りながら、しっかりと取組を進めていただきたいと思います。

以上です。

#### 【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部長は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第82回本部会議を終了します。

(了)